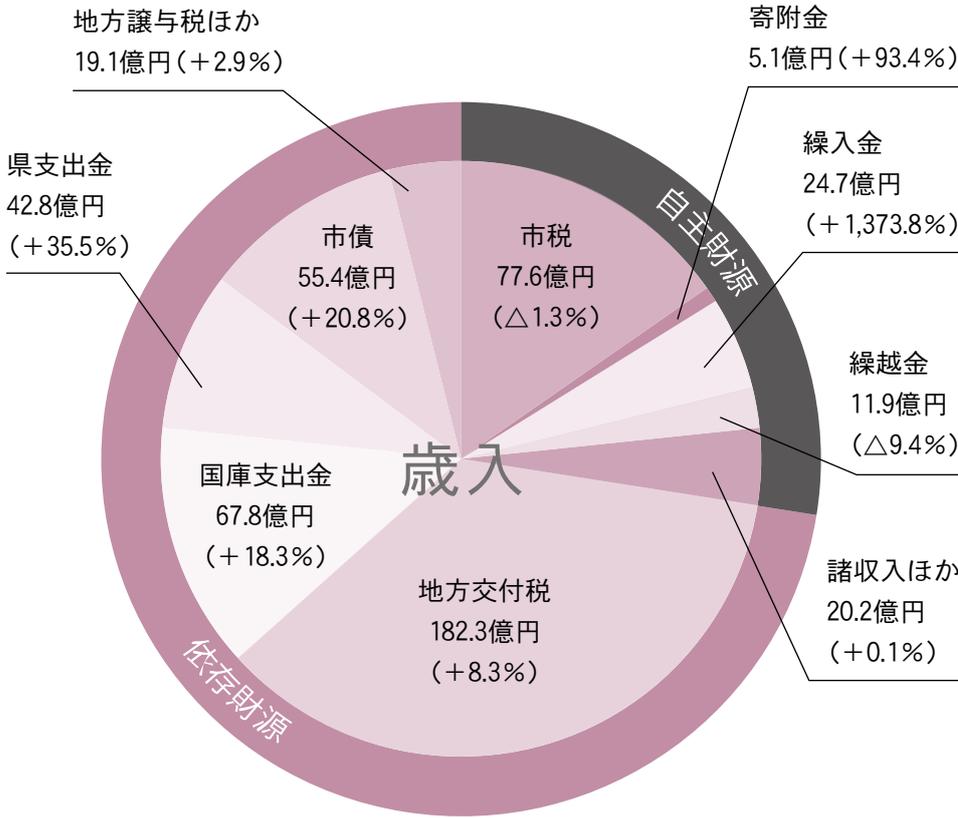


# 平成30年度 宇和島市の 財政状況



506.9億円

(うち、平成30年7月豪雨災害分：74.8億円)

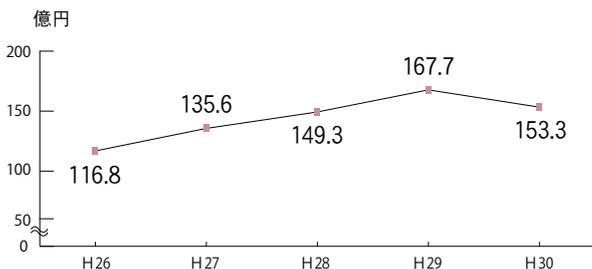
市税などの自主財源は、平成30年7月豪雨による財政調整基金繰入金の増加などの影響により、139.5億円（前年比+20.0%）で、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は367.4億円（前年比+14.2%）で、全体としては506.9億円（前年比+15.7%）となっています。

平成30年度の決算状況をお知らせします。今回の決算（普通会計）では、平成30年7月豪雨災害の影響により、合併後最大の決算額となりました。今後は人口減少などに伴う市税の減少のほか、合併に伴う普通交付税などの特別措置も減少していくことになるため、引き続き堅実な財政運営に努めます。

## ■市の貯金（基金残高）

市はさまざまな目的のために、資金を積み立てたり運用したりしています。

153.3億円 (△14.4億円)



## ■各会計決算額

(単位：百万円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	51,502	49,170	2,332	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	10,606	9,822	784
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	197	194	3
	後期高齢者医療	2,165	2,138	27
	介護保険(保険事業勘定)	10,123	9,871	252
	介護保険(介護サービス事業勘定)	32	30	2
	財産区管理会	14	11	3
	土地取得事業	120	115	5
	住宅新築資金等貸付事業	32	246	△214
	公共下水道事業	1,852	1,832	20
	小規模下水道事業	78	73	5

## 用語解説

【普通会計】ほかの地方公共団体との財政比較や統一した把握を容易にするための地方財政統計上の会計区分で、本市の場合は「一般会計」、「土地取得事業・住宅新築資金等貸付事業の各特別会計」を1つにまとめたもの。

【自主財源】市税や使用料・手数料などの市が自ら調達できる財源。「自主財源」の割合が高いほど、自主性と安定性のある予算を組むことができます。

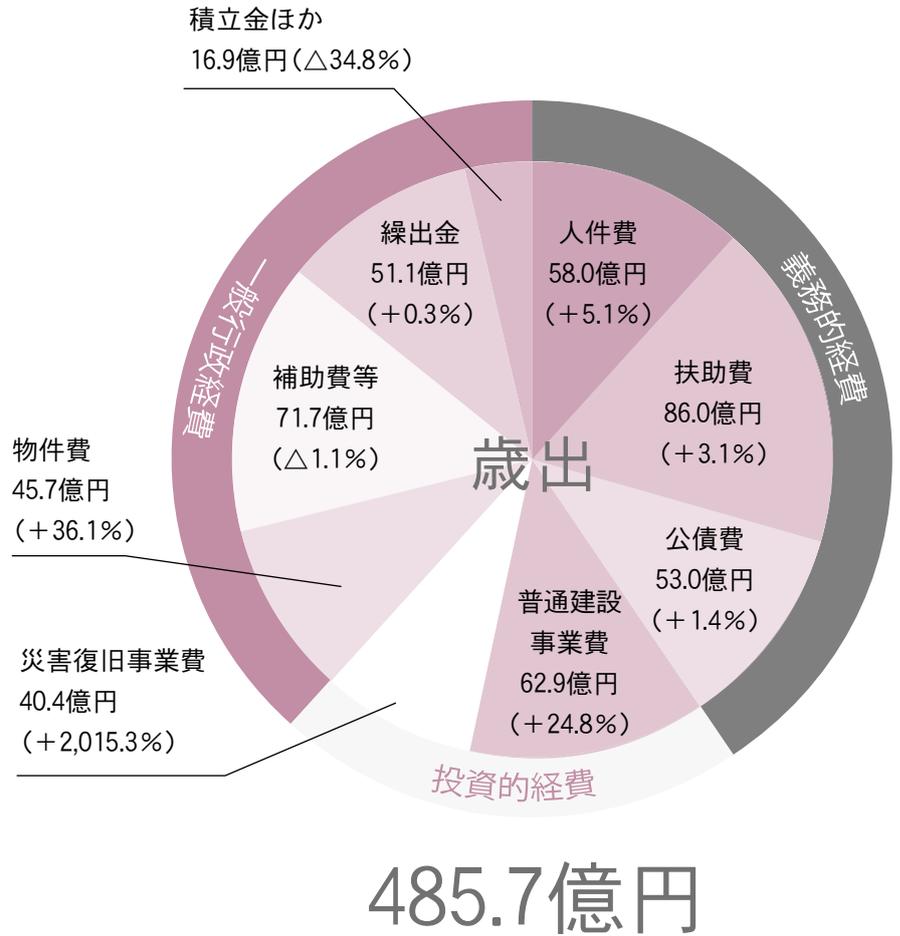
【依存財源】国や県の意思により定められた額で、交付されたり割り当てられたりする財源。

【義務的経費】その支出が義務づけられており自由に節減できない経費。通常は人件費・扶助費・公債費の3つの費目が該当します。

【公債費】市債(市の借金)の返済に充てた経費。

【投資的経費】その支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに使われる経費。

【基金】特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けられる資金や財産。



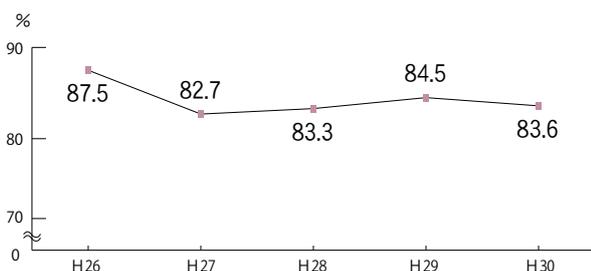
(うち、平成30年7月豪雨災害分：67.7億円)

人件費や公債費などの義務的経費が197.0億円(前年比+3.2%)で、平成30年7月豪雨による災害復旧事業費の増加などの影響により、投資的経費が103.3億円(前年比+97.5%)、物件費や補助費等などの一般行政経費が185.4億円(前年比+1.4%)で、全体としては485.7億円(前年比+14.0%)となっています。

## 財政の余裕 (経常収支比率)

財政の弾力性を示す指標で、比率が低いほど財政的な余裕があるとされています。

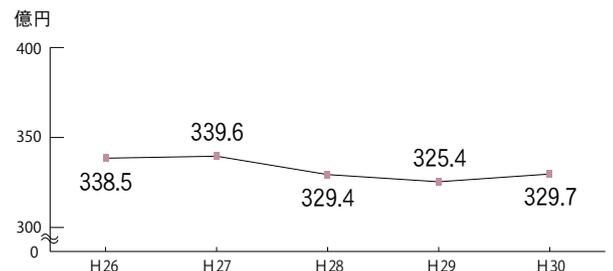
83.6% (△0.9%)



## 市の借金 (市債残高)

市が大きな事業をするために必要な財源で、多世代で利用する施設などを公平に負担する役割もあります。

329.7億円 (+4.3億円)



## ■ 財政健全化に関する指標

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。また、基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。

市の比率は次のとおりで、早期健全化・財政再生の基準を超えるものではありません。

(単位：%)

比率区分	H26	H27	H28	H29	H30 (速報値)	H30早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字	—	—	—	—	—	12.04	20.00
連結実質赤字	—	—	—	—	—	17.04	30.00
実質公債費	8.3	6.8	5.6	4.9	4.5	25.0	35.00
将来負担	9.7	—	—	—	—	350.0	

【資金不足比率】公営企業ごとに、資金不足額をその企業の事業規模で割った比率(経営健全化基準20.0%)。公営企業会計(水道事業会計ほか4事業会計)について、資金不足はありません。

## ■ 用語解説

【実質赤字比率】一般会計など(連結実質赤字比率は全会計)を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標。

【実質公債費比率】一般会計などで借りた市債の償還金と公営企業などが借りた市債の償還金に対する一般会計負担の合計額の標準財政規模に対する比率で、どれだけが借金返済額に使われているかを示す指標。

【将来負担比率】公営企業なども含め、市が将来負担しなければならない実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する度合いを示す指標。

## 病院事業

### 【損益計算書】

(単位：千円)

		宇和島病院		吉田病院		津島病院		合計	
費用の部	医業費用	12,242,261	90.1%	831,305	85.9%	1,157,123	76.5%	14,230,689	88.5%
	医業外費用	664,649	4.9%	31,787	3.3%	37,179	2.5%	732,892	4.6%
	特別損失	685,933	5.0%	104,249	10.8%	317,671	21.0%	1,107,245	6.9%
	合計	13,592,843		967,341		1,511,973		16,070,826	
収益の部	医業収益	12,046,205	93.1%	756,450	85.2%	1,165,312	88.0%	13,967,967	92.2%
	医業外収益	866,137	6.7%	131,245	14.8%	157,762	11.9%	1,154,421	7.6%
	特別利益	24,862	0.2%	342	0.0%	772	0.1%	25,368	0.2%
	合計	12,937,204		888,037		1,323,846		15,147,756	
当年度純損失		655,639		79,304		188,127		923,070	

※病院事業内での取引を相殺調整しているため、合計とは合致しません。

### 【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	14,509,617	負債の部	固定負債	16,346,309
無形固定資産	8,006		流動負債	3,036,709
投資	833,250		繰延収益	863,496
流動資産	10,842,388		負債合計	20,246,514
資産合計	26,193,261	資本の部	資本金	12,608,604
			剰余金	△6,661,857
			資本合計	5,946,747
		負債・資本合計		26,193,261

### 【患者利用状況】

(単位：人)

病院名	入院患者延数	外来患者延数	病床利用率
宇和島病院	149,270 (409)	236,633 (970)	94.0%
吉田病院	25,133 (69)	30,322 (124)	47.8% (68.9%)
津島病院	31,605 (87)	36,678 (142)	66.0% (84.0%)
合計	206,008 (565)	303,633 (1,236)	—

▶患者数のカッコ内は1日あたりの患者数です。

▶病床利用率のカッコ内は、休床数を除く病床利用率です。

## 介護老人保健施設事業

### 【損益計算書】

(単位：千円)

		オレンジ荘		ふれあい荘		合 計	
費用の部	施設事業費用	332,373	86.3%	305,919	81.7%	638,292	84.0%
	施設事業外費用	8,151	2.1%	13,046	3.5%	21,197	2.8%
	特別損失	44,847	11.6%	55,596	14.8%	100,443	13.2%
	合 計	385,371		374,561		759,932	
収益の部	施設事業収益	308,602	98.8%	284,846	96.1%	593,448	97.5%
	施設事業外収益	3,789	1.2%	8,152	2.8%	11,941	2.0%
	特別利益	0	0.0%	3,319	1.1%	3,319	0.5%
	合 計	312,391		296,317		608,708	
当年度純損失		72,980		78,244		151,224	

### 【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	955,893	負債の部	固定負債	633,998
無形固定資産	700		流動負債	182,060
投資その他の資産	230,307		繰延収益	131,713
流動資産	183,188		負債合計	947,771
資産合計	1,370,088	資本の部	資本金	1,084,551
			剰余金	△662,234
			資本合計	422,317
		負債・資本合計		1,370,088

### 【施設利用状況】

(単位：人)

		オレンジ荘	ふれあい荘	合 計
入所者	延数	23,867	21,277	45,144
	1日平均	65.4	58.3	123.7
	利用率	87.2%	97.2%	91.6%
通所者	延数	3,317	3,295	6,612
	1日平均	13.9	13.5	27.4
	利用率	69.5%	67.5%	68.5%

## 水道事業

### 【損益計算書】

(単位：千円)

費用の部	営業費用	2,096,460	92.3%
	営業外費用	77,681	3.4%
	特別損失	97,063	4.3%
	合 計	2,271,204	
収益の部	営業収益	2,269,099	90.5%
	営業外収益	211,548	8.4%
	特別利益	28,265	1.1%
	合 計	2,508,912	
当年度純利益		237,708	

### 【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	13,231,948	負債の部	固定負債	4,434,491
無形固定資産	283,624		流動負債	691,531
流動資産	2,609,501		繰延収益	2,364,095
資産合計	16,125,073		負債合計	7,490,117
		資本の部	資本金	6,156,214
			剰余金	2,478,742
			資本合計	8,634,956
		負債・資本合計		16,125,073

※病院・水道・介護老人保健施設事業の損益計算書は平成30年度の1年間、貸借対照表は平成31年3月31日現在の数値です。なお、様式については地方公営企業法施行規則に沿った独自様式です。

### 【地区別配水量】

(単位：m<sup>3</sup>)

地区名	年間配水量	1日平均配水量
宇和島	7,183,178	19,681
吉 田	953,867	2,613
三 間	579,758	1,588
津 島	1,608,069	4,405
合 計	10,324,872	28,287